



**新春
スペシャル
鼎談**

人馬一体から学ぶ コミュニケーション力

2025

謹賀新年



ビル新聞



戸本一真

「日本中央競馬会馬事公苑所属・パリ五輪銅メダリスト」

取材協力：日本中央競馬会馬事公苑
取材構成：楊 順行
写真：小池義弘



橋本茂

「日本馬術連盟理事長・ミツケル化学株式会社代表取締役社長」



橋本聖子

「参議院議員・ビルメンテナンス議員連盟会長」

株式会社ビル新聞社
本社
〒145-0062 東京都大田区北千束2-20-7-406
TEL. 03 (3729) 7595
FAX. 03 (3729) 7617

購読料 月：2,305円
年間：26,190円
発行 毎月2回 月曜日
https://www.bilshinbun.com



助成金・補助金を
検索するなら
助成金なう

0120-937-781
10:00~19:00
月~金(土日祝休み)

本紙掲載の記事・写真・図版等の無断転載を厳禁します。
©株式会社ビル新聞社

【合併号と発売日変更のお知らせ】
本号は1月13日と27日の合併号とさせていただきます。
また、2月1日目の発行は都合により、2月3日に変更いたします。
あらかじめご了承ください。
株式会社ビル新聞社

大成株式会社

カタい社名で、じゆうな発想。

大成株式会社は、じゆうな発想でサービスをデザインし、社会に“喜びと感動”を提供します。

詳しくはWEBで → ビル大成

『D2X「でんまる君」MiRAi』脱炭素化を次世代に!!
電力パワー!!身近な電力を「貯めて・大事に・使う」循環システム

BCP 電力・電源ステーション!!グリーン電力を再利用!!CO₂(温暖化)をSTOP!!

BCP対応エネルギーシステム 防災マンション・LCP住宅で運用中(東京都江東区)

太陽光発電システム

脱炭素
BCP 災害用
オフグリッド 電源用

エレベーター機能の確保
停電時でも、エレベーターが利用でき、高層階への移動が容易です。

給水ポンプ機能の確保
停電時でも、水道やトイレが利用でき、災害時も安心です。

受電盤
充電
EV車

PCS
LPガス発電機
蓄電池
V2X

太陽光発電システム

ELV
ポンプ

Hybrid Power Station
『D2X「でんまる君」MiRAi』30kVA

商用電源
充電用
『D2X「でんまる君」MiRAi』
切替器
停電時出力
30/200V
30kVA
or
10/100/200V
10kVA

ソーラーパネル
9~30kW

外部発電機
30/200V/10kVA

蓄電池
39.9kWh
(19.9kWh×2)

〜3相負荷〜
エレベーター
水圧ポンプ
〜単相負荷〜
照明
コンセント

●再生可能エネルギーによる80%削減!
●停電時は単相30kVAの出力によるバックアップが可能です!
●発電機等の外部入力による長時間バックアップが可能です!

BCP 電力・電源ステーション!! 脱炭素化を目指す100年企業へ!!
TATSUMI 株式会社 辰日菱機
〒136-0074 東京都江東区東砂 6-12-5 TEL.03-3648-3174
URL: http://www.ttmr.co.jp/

ミツケル化学は、未来に向けた懸念を減らすため、フッ素系有機化合物を使用しない製品開発を、先駆けて進めてまいります!

PFAS (有機フッ素化合物) とは
PFASとは人工的に合成された有機フッ素化合物群の総称です。
コーティング剤や界面活性剤、表面処理剤などに広くつかわれていますが、難分解性や生物への蓄積性による健康への影響が指摘されており、世界的に規制強化に向けた動きが強まっています。

PFAS FREE

ハイパーリムーバー NEO
樹脂ワックス剥離剤

アドバンス
樹脂ワックス

カガクで見つけるカガク未来
ミツケル化学株式会社
〒135-0014 東京都江東区石島 2-14 (ImasRiverside 4F-A) (代表)TEL.03-5633-2520 FAX.03-5653-3575

新春 スペシャル 鼎談



東京都世田谷区の馬事公苑内にある実物大のウラヌス号の煉瓦装飾の前で（左から戸本氏、橋本聖子氏、橋本茂氏）

（3面から続く）
アプロチをしないといけません。橋本聖 自信を失った原因を探ると言っても人間が相手なら色々話を聞くことができますが、馬だと非常に難しいです。
戸本 練習のメニューにも気を配ります。たとえば障害飛越が苦手な馬がいたとして、苦手とはいえ必須種目なので練習はしなくてはならないのですが、毎日そればかり繰り返すと、馬によっては「ああ、また今日も障害か」と嫌になってしまったりもありません。それよりも1日目に障害をやったら、2日目は馬に「今日は楽しいな」と思わせるようなトレーニングをしたり、あるいは翌日はオフにしたりするとか。障害クロスカン トリ、馬場馬術とローテーションにするとか、メリハリをつけることは必要かもしれません。もちろん、一時期に集中して苦手を克服する方が早い馬もいるでしょう。いずれにしても強制ではなく、馬自身が納得して学習する方法を試していくしかないですね。それ

を感じ取るのも、一つの技術です。それは人間も同じでしょう。橋本聖 そもそも、馬に障害を跳んでもらうには、どのような訓練をするのですか？
戸本 「止まれ」や「進め」は、仔馬の段階から調教していくので、競技に出場するような馬ですと、競馬にそこは習得しています。ちなみにその指示は、脚と手綱の合図がほとんどですが、自分の体重を利用して推進を促すこともあります。「跳べ」に関しては、ただの横木を一本またぐところからスタートし、10センチ、20センチ……と、徐々に高い障害を跳ぶようにトレーニングをしていきます。跳ぶ際には、その瞬間にライダーが「今だ、跳べ」という指示をするわけではなく、跳びやすいポイントに馬を誘導してあげ、自発的に跳ぶのです。いずれにしても正確に理解するようになるまで一貫したトレーニングを積み、競技会の出場を繰り返すことで、人と馬がお互いをより正確に理解するようになりま

す。橋本聖 その道具を使うスケートや自転車競技と違って、生き物の馬が相手ですから大変なところですね。
戸本 今、再調教している馬は、以前なら平気で障害を跳んでいたのに、何かのきっかけでうまく跳ばなくなれば平気なのに120センチの高さに跳んでくれない。そこで手を替えて、品を替えてあれこれ試しながら色々な方法でトレーニングをしたところ、あるやり方に目に見えて効果があったんです。そういう時には「あ、そこが通じた」と感じます。トッククラスの馬になると、「八割方はOKだけど、欲を言えばあと少しこうしてほしい」「それも悪くないがこうしてほしい」という微妙なニュアンスに添えてくれることもあるんです。馬が同じゴールを理解してくれていないと感ぜられる瞬間です。かと思えば、まるでこちらの気持ちに通じない馬もいます。どのスポーツも同じですが、それが正解と違う答えはないですし、あるレベルに達

「責任を取る勇氣と決断」

したら更にその上を目指すという意味では、到達点のないスポーツだと改めて思います。
橋本茂 今の戸本さんのお話は馬とのコミュニケーションですが、橋本先生は組織を統率する時、トップとしてどのようなコミュニケーションを心がけていらっしゃいますか？
橋本聖 2021年の東京オリンピックではオリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の会長を務めました。コロナ禍で休止し、メディアの一部には「本当に開催して大丈夫なのか？」という論調もある中で、最終的に開催を決断したわけですが、開催する以上は「命と健康を守ることを徹底しつつ、大会を成功させる」という大きな命題を組織として共有しました。最終的にあの組織は、8000人規模になったのですが、組織委員会の職員、役人、スポンサー、民間企業、各自治体から送り込んでいただいた人たちという集まりでした。年齢や性別はもちろん、職業もバックグラウンドも様々でした。そういう集団が一つに結束してもらうには、私が普段から行動で示すことが大切だと思っていました。
橋本茂 具体的に、どういうことをされたのでしょうか？
橋本聖 そのうちのひとつは「自分も同じ場所にいる」ということです。トップが雲の上にいると「声を上げても届かないだろう」「どうせ話は通じないだろう」「現場の細かいことは分からないだろう」となりがちでしょう。そうではなく、常に様々な現場に直接足を運び、仕事ぶりを見て激励し、時には何か問題点はないかと声をかける。そして、なぜオリンピック・パラリンピックが存在するのか、日本でやる意義はどこにあるのか、私自身の考えや思うところを、できるだけ自分の言葉で各人に伝えるようにしました。さすがに8000人全員と直接話すわけにはいかず、メールでの伝達にはなりましたが……
橋本茂 なるほど。あの大会が成功に終わった裏には、そういう地道な努力があったのですか？
橋本聖 最後は、全ては自分が責任を取るから、思う存分力を発揮してくださいという姿勢は示しました。それが伝わったかどうかは分かりませんが、最終的には「どんなことをしても、東京大会を成功させよう」という輪にはなってくれたと思います。トップに求められるのは勇氣と決断、それを凄く勉強させてもらいました。
橋本茂 今改めて大会を振り返ってみて、何か感じる部分はありますか？
橋本聖 そういう視点に立てたの

は、アスリートという土台があったのが良かったのかなと思います。現役時代はオリンピックの選手団もやり、東京大会の前にはJOCの強化本部や様々な競技団体の会長も経験しました。その時に生きたのが、トップにはどう見えてほしいかというアスリート目線ですね。ともすると、雲の上にいる普段はお目にかかれなようなトップの方もいますが、アスリートがトップに望むのは常に現場に足を運び、アスリートの声を聞き、やりやすい環境を整えてくれること、心おきなくプレーに集中させてもらいたいことです。それは選手に限らず、トレーナーや管理栄養士など携わるスタッフも含めての話で、その環境を整えることがチーム力につながる。採点競技の0.1点タイム競技の100分の1秒を争う時に、この目に見えない積み重ねがチーム力となり、最終的に勝敗を分けるんです。これはビジネスでもそうですよね。
橋本茂 おっしゃる通りです。ビジネスでも全く同じですね。
橋本聖 それにしても戸本さん、東京大会の時はずいぶんお疲れでしたね。私は日本馬術連盟の強化委員にもなっていて、自国開催でのメダル獲得が目標で、戸本さんはそれに手が届きかけた個人4位。
戸本 おっしゃる通りです（笑）。総合馬術の個人最終日の1本目に障害を一つ落としました。あれがなければ銀メダルだったわけですから。ただその時、取材に対して「ここで得た経験は、絶対にメダルへとつながると話したんです。パリ大会ではまさにあの経験があったので、ほとんど緊張することなく冷静に競技を運べました。東京大会は無観客でしたが、母国の開催のほやほやや特別で、それととも比重もあつたんです。そういう経験をしていたから、フランスでは「大きな国際大会に出ている」くらいの感覚でやれました。
橋本聖 私は勝ち方にも「質」があると考えているんです。「勝つ」として終わるのではなく、勝ち方の質を上げていくと努力する選手が凄いな選手になるんだと思っています。戸本さんの場合、東京大会でメダルを獲得したらそれはそれで素晴らしいことでしたが、獲れなかったからこそ反省して鍛錬して準備をして、パリ大会で目標を達成したわけですから、アスリートとしての「質」は充実していたのではないですか。繊細な馬という生き物と正面から対話して、アスリートとしての自分を高め、これからは「自身がアスリートを育てていく。そういう難しいミッションをこなしていければ、他のどういったお仕事でもできそうですね。戸本 いや、僕はこれしかできないです（笑）。

橋本茂 「勝ち方の質」ですか。私も経営者として、ビジネスの「質」ということをよく考えます。ただ単に利潤が上がればいいわけではなく、企業として社会に対してどれだけ使命を果たしているか。そこへいくとビルメンテナン業界は衛生度、清潔度の高さという日本の評価に貢献しているという自負があります。コロナ禍の時、医療従事者の方などがエッセンシャルワーカーとして貢献してくださいましたが、清潔さを保つという点ではビルメンテナン業界も一定の役割を果たしたのではないかと。
橋本聖 自分の仕事に対する責任感の強さ、私がよく表現する精神文化の高さが日本人の良さですね。誰も見ていないところで手を抜かず、人のために尽くす。東京大会で各競技場に行った時、ボランティアの方々の能力の高さ、献身ぶりには本当に頭が下がりました。ビルメンテナン業界には公的な仕事もかなり多く、その場合は制度改革も含めて国と一体で進めなくてはなりません。それをスムーズに行うために私自身が会長を務めるビルメンテナン議員連盟があり、様々な分科会が業界と密にコミュニケーションを取っています。だからこそ、いざという時にスピーディーに対処できる。あらゆる分野の人が協力し、一つのチームとして目標に向かうのは、ある意味ではスポーツと同じですね。
橋本茂 ビルメンテナン業界と議員連盟との連携でもコミュニケーションが大切というわけですね。
橋本聖 私はパロン西竹（こさき）さんがメダルを獲得した時の動画を見たことがあるんです。障害競技で最後の障害では確かにウラヌス号の後ろ足が引っこかかっているんですけど、よく見るとパーを落とさないようにウラヌスが自ら体をよじっているんですよ。それが金メダルにつながったわけですが、馬がそこまで感じ取って行動してくれる、鞍上の思いを知っているかのように振る舞うというのは感動的です。人と馬とに心が通い、信頼関係が生まれることで一体になれるのです。
戸本 西さんは偉大な先輩で、初めて聞くお話ですが、十分にあり得ると思います。僕の場合は、競技中の馬は、これが最終障害だなどというのを分かっています。ですからウラヌスもひよつとしたら、最後の障害だと分かっていたら、最後の力を振り絞り、体をひねって……そうだとでも不思議ではありません。
橋本茂 成績の良し悪しやパーの落下数などは分からないにしても馬は褒められることは敏感な動物です。コミュニケーションがうまく取れていればライダーの期待に応えることはやってくれそうですね。本日は長い間、貴重な興味深いお話をありがとうございました。

2025 新春スペシャル鼎談 人馬一体から学ぶコミュニケーションカ

ビル・ストックマネジメント

ビルのリニューアルで

- 省電力化
- エコ化
- CO₂削減

を可能にしました。

- 太陽光発電
- LED照明
- カーペット
- 環境対応壁材

建築・内装・空調設備・給排水設備・電気設備・消防設備

同和興業

BMセンター TEL.022-231-1811 FAX.022-238-8989

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町四丁目6番1号(仙台第一生命タワービルディング) TEL.022-224-0271 FAX.022-224-1651
■本社 / 仙台 ■営業所 / 石巻・塩釜・古川・栗原・気仙沼・名取・白石・盛岡・郡山・いわき

動画撮影・編集

ライブ配信もできます！

- 発表会
- コンサート
- 事業紹介
- SNSやYouTube等への広告展開
- イベント
- 商品紹介
- スポーツ卒団記念

お客様の希望により、動画配信サイトへの投稿やSNSの活用、DVD納品など、様々な納品形態に対応できます。

株式会社 民報印刷

〒960-2154 福島県福島市佐倉下字二本榎前10-7
TEL.024(594)2170代 随平日 午前9時～午後5時

http://www.taiyo-bldg.jp/

この環境を守らなくては……

ビルの総合管理から 廃棄物処理まで

この環境を守らなくては……

- Clean
- Health
- Maintenance
- Guard
- Manege
- Other

大洋ビル管理株式会社

■本社 〒010-0923 秋田市旭北町1-14 TEL.018-865-0601 FAX.018-865-0612
■東京支店 〒171-0014 東京都豊島区池袋二丁目43-3 日村ビル3階 TEL.03-5944-8464 FAX.03-5944-8775
■仙台支店 〒982-0802 宮城県仙台市太白区八木山東1丁目16-13 TEL.022-398-8151 FAX.022-398-8152